

# Arcserve Backup 18.0 動作要件 (バックアップ装置対応)

2024年8月23日更新

Arcserve Backup 18.0 for Windows で対応しているバックアップ装置の一覧です。

- サーバーと各バックアップ装置間の接続については、システム構成図等を参照ください。
- 対応 OS については、Arcserve Backup 18.0 for Windows 製品とバックアップ装置の双方の動作要件を満たす必要があります。
- バックアップ装置の動作要件は、各装置の仕様等をご確認ください。
- 本ドキュメントに記載のない装置の対応状況については、当社担当営業までお問い合わせください。

## 索引

- [データカートリッジユニット](#)
- [テープユニット \(内蔵 LTO ユニット\)](#)
- [テープライブラリ \(ETERNUS LT シリーズ\)](#)
- [ETERNUS CS デデュープアプライアンス \(重複排除技術搭載ストレージ\)](#)
- [ETERNUS DX series ハイブリッドストレージシステム \(NAS 機能\)](#)
- [脚注](#)

## データカートリッジユニット

装置	インターフェース	特記事項
<a href="#">PY-RD111/PYBRD111</a>	USB 3.0	(注1)
<a href="#">PY-RD112/PYBRD112</a>	USB 3.0	
<a href="#">PY-RD113/PYBRD113</a>	USB 3.0	

## テープユニット (内蔵 LTO ユニット)

装置	ドライブ	特記事項
<a href="#">PY-LT511/PYBLT511</a>	LTO5 (Ultrium5)	-
<a href="#">PY-LT611/PYBLT611</a>	LTO6 (Ultrium6)	
<a href="#">PY-LT611A/PYBLT611A</a>	LTO6 (Ultrium6)	
<a href="#">PY-LT711/PYBLT711</a>	LTO7 (Ultrium7)	
<a href="#">PY-LT811/PYBLT811</a>	LTO8 (Ultrium8)	

## テープライブラリ (ETERNUS LT シリーズ)

装置	ドライブ	特記事項
<a href="#">ETERNUS LT20 S2</a>	LTO6 (Ultrium6) LTO7 (Ultrium7) LTO8 (Ultrium8)	(注2)
<a href="#">ETERNUS LT40 S2</a>		
<a href="#">ETERNUS LT60 S2</a>		
<a href="#">ETERNUS LT140</a>		
<a href="#">ETERNUS LT260</a>		
<a href="#">ETERNUS LT270 S2</a>		

## ETERNUS CS デデュープアプライアンス (重複排除技術搭載ストレージ)

装置	プロトコル	特記事項
<a href="#">ETERNUS CS800 S6</a>	CIFS	(注 3)
<a href="#">ETERNUS CS800 S7</a>	CIFS	(注 3)
	VTL	(注 4)
<a href="#">ETERNUS CS800 M1</a>	CIFS	(注 3)

## ETERNUS DX series ハイブリッドストレージシステム (NAS 機能)

装置	プロトコル	特記事項
ETERNUS DX100 <a href="#">S3</a> / <a href="#">S4</a> / <a href="#">S5</a>	CIFS	(注 5)
ETERNUS DX200 <a href="#">S3</a> / <a href="#">S4</a> / <a href="#">S5</a>		
ETERNUS DX500 <a href="#">S3</a> / <a href="#">S4</a> / <a href="#">S5</a>		
ETERNUS DX600 <a href="#">S3</a> / <a href="#">S4</a> / <a href="#">S5</a>		

## 脚注

注1： Disaster Recovery Option にて Windows PE リカバリディスクを作成する場合、Arcserve Backup プライマリサーバ、または、スタンドアロンサーバに Windows ADK をインストールしてください。

注2： 2 ドライブ以上を搭載した装置を使用する場合、Arcserve Backup 18.0 for Windows (本体製品) に加えて、以下の製品が必要です。

Arcserve Backup 18.0 for Windows Tape Library Option

注3： 装置上にファイルシステムデバイスを作成して使用します。  
Arcserve Backup のデータデデュプリケーション (重複排除) 機能との併用はできません。

注4： 仮想テープ 1 本あたりの容量は非圧縮時の容量となります。

注5： 装置上にファイルシステムデバイスを作成して使用します。  
バックアップ先で生成されるファイルに対してアクセス権限が付与されるように、事前に

ETERNUS DX 側で設定が必要です。詳細は、以下のドキュメントを参照ください。

[ETERNUS DX S5 series 構築／運用ガイド（NAS 編）](#)

[ETERNUS DX S4/S3 series 構築ガイド（NAS 編）](#)